

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2026年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第6回講義

## ライフサイエンス政策について

文部科学省 ライフサイエンス課長

倉田 佳奈江 氏

本講義では、生命現象の解明にとどまらず、創薬、健康寿命の延伸、環境・エネルギー、さらには農林水産業に至るまで、多様な産業・社会課題と密接に結びつくライフサイエンス研究を取り巻く政策について、最新動向を踏まえつつ、実際に政策立案に携わる立場から解説します。

特に、昨今の成長戦略の議論を手がかりに、経済成長と科学技術・イノベーション政策の関係に焦点を当て、「なぜ今この政策か」、「いかにリスクテイクや成長投資を促すか」といった問いを共有し、主体的な考察につなげます。

また、AI技術の急速な進展により、ライフサイエンス研究そのものが変革しつつあるとともに、新たなリスクも顕在化してきている現状に触れ、研究推進とリスクガバナンスをいかに両立させるかについて、多角的な視点から議論します。

日時： 5月15日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業

倉田 佳奈江 先生

広島県出身。東京大学薬学部卒業、London School of Economics and Political Science 大学 修士課程修了(社会学修士)、平成14年文部科学省入省。研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室室長補佐、九州大学総務課長、研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室長、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局企画官(国際担当)、科学技術・学術政策局研究開発戦略課長、科学技術・学術政策局参事官(国際戦略担当)を経て、令和7年4月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授